

## 事業報告

事業名	令和2年度第1. 2回屋久島研究講座	事業体系	環境学習事業
期 日	令和2年12月12, 13日(土. 日)		
場 所	オンライン (ZOOM利用)		
対象者	すべて	参加者数	①157名 (内受講証明書発行29名) ②182名 (内受講証明書発行25名)
<p>(概 要)</p> <p>第1回 テーマセッション1 「越境汚染物質・最前線としての屋久島 講師及び内容 篠塚賢一 (福岡工業大学環境科学研究所)                                 渓流水のN同位体比からみた硝酸性窒素の起源推定 永淵 修 (福岡工業大学環境科学研究所)                                 屋久島に飛来する大気汚染物質による陸水・樹木への影響</p> <p>講演要旨 環境汚染は人新世の産物である。環境研究では、循環の概念が広く用いられており、特に 生物地球化学的循環は、汚染物質の発生・運命・輸送・沈着等の研究に関連している。ここでは、汚染物質の屋久島への輸送・沈着・効果を中心にフィールド調査の結果を報告する。</p> <p>第2回 テーマセッション2 「屋久島の植物多様性：最新の研究成果から」 講師及び内容 海老原淳 (国立科学博物館・植物研究部)                         屋久島のシダ植物の多様性 末次健司 (神戸大学・理学部)                         屋久島の従属栄養植物の多様性 奥山雄大 (国立科学博物館・植物研究部)                         チャルメルソウ属・カンアオイ属から見た屋久島 矢原徹一 (九州オープンユニバーシティ)                         新たに発見された屋久島固有植物</p> <p>講演要旨 屋久島には約80分類群 (約50種+約30変種) の固有植物が知られており、植物相の固有性がきわめて高い。これらに加え、屋久島以外には少数の自生地しかない準固有植物や、日本では屋久島にしか自生しない希少植物がある。今回のテーマセッションでは、これらの固有植物・希少植物の分類・生態・進化に関する最新の研究成果を紹介する。 ※ 屋久島町エコツーリズム推進協議会登録ガイド更新条件の対象となっています。</p>			
資料等	別添のとおり		